

(別記様式)

令和2年度 府立田辺高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階 ・ 実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>「人間力ある人づくり」を目指して</p> <p>1 生徒一人ひとりを把握し、多様な組織的な教育活動を個に応じて展開する。</p> <p>2 普通科および工業に関する専門学科の併設を生かした教育活動を展開する。</p>	<p>本校は「人間力ある人づくり」を目指して教育活動に取り組んできた。令和元年度は、前年度の成果と課題を踏まえ教職員が一丸となって本校の教育活動を前進させることができた。また、多くの生徒は、積極的に授業や学校行事に取り組み、学力の向上や自主性、創造力を培うといった点で成果が現れてきている。</p> <p>1 規範意識等に関する取組について 生徒指導部を中心に、身だしなみ指導や遅刻の根絶等、基本的生活習慣の確立に向けた指導の下、一定の成果は見られる。今後、あらゆる機会を通した粘り強い指導を行い、生き生きと充実した高校生活の充実を目指し、帰属意識の定着をより一層図る必要がある。</p> <p>2 進路指導・学習指導について 進路決定状況では、本校の強みを生かし、今年度も内定率100%を達成することができた。進学においては、国公立大学合格者が、平成30年度の4名から令和元年度1名と減少したものの、私立大学合格者において、平成30年度の54名から令和元年度134名と大きく飛躍した。これは、早期に進路決定するのではなく、自分の可能性を信じ、推薦入試・一般入試まで最後まで諦めさせない指導の成果である。今後もこの粘り強い指導を続けていきたい。一方で、学習指導について、日頃よりきめ細かな指導を心がけ、実践してきたが、途中、意欲をなくす生徒も一部出てきて、中途退学及び転学者数の減少には繋がらなかった。より細やかな指導が求められる。</p> <p>3 部活指導等本校への帰属意識向上 陸上競技部や機械工作部に代表されるように、全国・近畿で活躍する生徒がでてきているものの、部活動加入率は減少傾向にある。様々な機会を使って部活動の意義について理解させ、高校生活の充実を図り、学校生活の満足度のさらなる向上を目指す必要がある。</p>	<p>1 自他を大切にする人権感覚の育成に重点を置くとともに、身だしなみ違反や遅刻の根絶等、基本的生活習慣を確立する。また、全員が安心して安全な高校生活をおくれるよう規範意識の確立と授業規律を徹底し、教育環境を整備する。</p> <p>2 生徒の希望進路の実現を第1に、入学から卒業までを体系的に捉え、一貫した指導の下、学力の向上を図る。進学・就職ともに強い進路指導体制の充実を図るとともに、粘り強い学習指導を通して原留・中退・転学等を減少させる指導を徹底する。</p> <p>3 部活動の加入率の増加を目指し、部活動のさらなる活性化を図る。また、学校行事に積極的、主体的に取り組むよう常に工夫・改善に努め、学校生活の一層の充実を図り、生徒の「人間力の育成」を図るとともに、生徒・保護者の学校満足度のさらなる向上を目指す。</p> <p>4 ICT活用の研究を進める等、魅力ある授業を展開し、学習・指導方法及び評価方法の研究を行い、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を推進させ確かな学力を育む。</p> <p>5 地域と連携し、地域創生に寄与する取組を推進する。地域の高校としての存在感を高め、心身の健全な発達と母校を愛し、誇りの持てる高校生の育成を目指す。</p> <p>6 本校の特色ある教育活動について工夫を凝らした広報活動を積極的に展開し正しく、広く理解していただくとともに、保護者、中学校、地域等への広報をより一層推進する。</p>

	<p>4 地域連携・広報等について</p> <p>京田辺市と連携協力に関する協定を生かし、工業に関する専門学科の地元企業での体験等の事業を実施し、生徒の職業観の育成を図ることに大きな成果があった。広報活動では、新たに中学校教員向け説明会の実施を行うなど、本校の特色ある教育活動について正しく、広く理解してもらうための取組を昨年度実施した。今後さらに魅力ある広報活動を展開し、中学生に「第一希望」として選ばれる学校づくりを進めていきたい。</p>	<p>7 上記の項目を推進するため、各分掌・教科の連携を図り、全教職員が一体となる体制づくりを行い効果的かつ組織的な教育活動を実践する。</p>
--	--	--

分掌 教科名	評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
副 校 長	組織運営	生徒と向き合った生き生きとした教育活動が行える学校作りの推進	部長会議を中心に連絡・調整を密にした学校運営を進める。				
			適切な勤務時間の管理を行い、総勤務時間の縮減に努める。				
		普通科・工業に関する専門学科の特色化の推進と広報活動の充実	普通科・工業に関する専門学科の教育内容の更なる改善と充実に努め、地域や地元企業との連携をより一層推進する。また、本校の特色ある教育活動について正しく広く理解していただくため、保護者、中学校、地域等への広報活動を更に充実させる。				
事 務 部	学校運営	企画、立案及び連絡調整	効果的な学校運営に不可欠な予算執行に係る企画、立案に積極的に関与し、これを実行する。				
	文書・ 情報管理	文書事務の効率化と情報管理の適正化	法令・規定に基づいた事務処理を行い、情報の公開、個人情報の保護を意識した情報管理を行う。				
	就学支援	充実した高校生活と希望進路達成に向けた支援	在学中の生徒・保護者への支援策の効果的に紹介する。				
	維持管理 及び学校 環境の 整備	安心・安全、学習環境の充実	老朽化や緊急性を踏まえ効果の高い改善策の検討し、実行する。				
			緊急事態発生時に柔軟な対応を行うことで生徒の安心・安全確保に努める。				
			バリアフリーなどユニバーサルデザインを意識した改修を行う。				
	財務及び 会計	効率的な予算執行と適切な会計処理	費用対効果を意識した予算執行体制を確保する。 適時に必要な予算を担保し、学校運営に携わる。				
教 務 部	学習指導	組織的な指導による教科指導の一層の充実	授業・考査を適切に計画し円滑に実施する。				
			生徒向けの授業評価アンケートを実施し、授業改善に役立てる。				
			公開研究授業を実施し、指導力の向上を図る。				
			今後の教育課程について検討を進める。				

	情報管理	生徒情報の円滑な管理	校務システムを円滑に運営するとともに、成績処理及び個人成績票発送の適切な管理を図る。				
生徒指導部	生徒指導	基本的な生活習慣、学習態度を確立させる指導の充実	身だしなみの指導等において、全教職員が一致した指導を実施する。				
			生徒の実態を的確に把握し、授業規律を確立する。(授業中の携帯電話使用を減らす)				
			各分掌・教科と連携し、生徒指導を実践していく。				
	特別活動	自主性・自発性の育成	田辺高校祭を成功させる。				
			部活動を活性化させる。				
			生徒会・ボランティア活動を活性化させる。				
進路指導部	進路指導	希望進路の実現	入学から卒業までを体系的に捉え、一貫した指導の下、学力向上に向けた取組を充実させることで希望進路の実現を図る。				
			進学補講を年間を通じて週1回実施する。				
			自己理解を深め、高校生段階での将来を見通した勤労観・職業観を養う効果的な指導を実践するとともに、企業訪問を実施し、就職指導の充実を図る。				
		保護者との連携	昨年度に引き続き就職内定率100%を目標とする。系統的な進路指導となるよう、指導の内容については見直すべきものを改善・整理していく。				
			適切な時期に個別面談や進路説明会を実施することにより、進路決定に向けて、生徒及び保護者との共通理解を図る。				
			各学年1回以上の保護者説明会を実施する。				
保健部	健康安全教育の推進	健康な心身の育成	健康診断を全項目受検させ、特に心臓・尿検査について精密検査が必要な生徒を全員受診につなげる。				
			相談活動(カウンセリングを含む)や来室生徒への保健指導を適切に実施する。				
			特別支援教育会議を定期的に開催し、特別支援教育の視点を活かした指導を推進する。				

		校内美化に対する啓発の促進	<p>日常の清掃活動が円滑に行えるように各学期に1回、掃除道具の整備・補充を行う。</p> <p>クリーンキャンペーンや大掃除を定期的に実施する。</p> <p>毎日のゴミ捨てを推進し、ゴミ減量への啓発を行う。</p>				
図書部	学習指導	生徒の図書館利用及び読書活動の推進	<p>購入図書及び各種資料の適切な選定と配架を行う。</p> <p>新着図書や思考・読書のきっかけになる本について効果的な情報発信・広報を行う。</p> <p>図書館が生徒のニーズに応じて機能できるような環境作りに努める。</p>				
		視聴覚機器の整備	視聴覚機器を適切に管理する。				
	特別活動	芸術鑑賞の実施	<p>芸術鑑賞に関心をもって参加できるよう、事前の取組を工夫する。</p> <p>プログラムの打ち合わせ等を十分に行い、生徒の心に残る内容にする。</p> <p>次年度の演目について検討し、適切な時期に決定する。</p>				
総務・人権教育部	広報活動	中高連携と広報活動の充実	<p>中学生・保護者の本校に対する理解や関心を高めるため、学校説明会や施設見学等を再編し実施する。</p> <p>各教員が新設したホームページをより有効に利用できる体制を整え、生徒の活動を学校内外に広く紹介する。</p>				
	人権教育	人権意識の高揚及び実践的態度の育成を通じた人間力の充実	生徒の人権意識の向上と学習の深化・定着を図るため、視聴覚教材や外部講師による講演を通じた人権学習を実施する。				
工業部	工業教育の充実と発展	各科、専門科目の学習内容の充実と、各種資格・検定等の取得率向上	<p>教育内容の精査、より効果的な実施方法、指導者側の有用な指導体制等について具体的な検討を進める。</p> <p>格取得や検定の合格に向け、講習会等におけるより効果的な指導方法を検討すると共に、計画的に実施する。また、各種競技会に向けた指導の充実とその体制を整備する。</p>				

		事業所や大学等において、実際の技術・研究に触れる機会の企画及び提供	事業所や大学等における、インターンシップ並びに見学会などを企画・立案・実施する。				
			事業所や大学等の技術者や研究者による講演や実技指導等を計画的に実施する				
第1学年部	学習指導及び進路指導	学習環境の整備 学習態度の育成 進路実現に向けた目標の設定 基礎学力の育成	各教科、教科担当者との連携を図り、情報を共有しそれに基づいた各生徒への対応と家庭との連絡を密に行う。				
			進路指導部と連携をとりながら、生徒、保護者と面談を密に行い、目標の設定を行わせ、進路目標を明確にさせる。				
	生徒指導及び特別活動	規則を守る自主・自律の態度の育成	規則を遵守させるため一致した指導・対応を行う。 委員会活動、学校行事等における役割、及び清掃活動などに積極的に参加させ、役割を果たさせる。				
		配慮を要する生徒への支援	関係分掌との連携、要配慮生徒との家庭連絡を密に行う。				
第2学年部	学習指導及び進路指導	主体性のある学習態度の育成	日常の学習の重要性を認識させ、学習時間を向上させる。 昨年度比： 50%増:A 30%増:B 微増:C 減少:D				
			学習環境の整備のために、教科担当者との連携を図り情報を共有する。それに基づいた生徒への対応と家庭との連絡を行う。				
		希望進路の実現に向けた具体的な取組の促進	進路指導部と連携し、ホームルームや補講などを通し、具体的な対応方法を理解させ、実践させる。				
	生徒指導及び特別活動	規則を守る、自主・自立の態度の育成	規則遵守のため一致した指導・対応を教員が行い、指導件数の減少を目指す。 昨年度比 50%減:A 30%減:B 微減:C 増加:D				
		研修旅行など、学校行事に参加しにくい生徒への手厚い指導	面談等を実施し、その状況を共有し、学年全体で取り組む対応を進めていく。				
		配慮を要する生徒への支援	合理的かつ公平性を保ち、関係分掌との連携、要配慮生徒との家庭連絡を密にする。				

第3学年部	進路指導 及び 学習指導	希望進路の実現 社会人として必要な力の育成	個人面談、進路ガイダンス、保護者説明会などにより生徒及び保護者との連携を密にし、適正な進路指導を行う。				
			授業やLHRなどさまざまな場面を通して、生徒に卒業後の自分の進路を考えさせる。				
	生徒指導 及び 特別活動	規範意識の醸成 規律ある学校生活	学年会等で生徒の実態、指導方針を確認する。生徒に対しては自律性を高めるよう働きかけ、保護者には協力を得られるよう連絡を密にする。				
		計画的、積極的に学校行事や特別活動に取り組む態度の育成	進路実現のための取組と学校行事、部活動などの取組を両立できるよう計画的かつ積極的に取り組ませる。				

#### 評価

A：十分達成できている（目標以上の成果があった）

B：ほぼ達成できている（ほぼ目標どおりの成果があった）

C：達成できているとはいえない（成果は見られたが目標には達していない）

D：達成できていない（成果がなかった）